

令和5年度

(簡易水道特別会計)

主要な施策の成果の説明

芽室町

款		項		目		事業番号	決算書上の事業名
1	簡易水道	1	総務管理費	1	一般管理費	140123	簡易水道(上美生・美生・河北)施設維持管理事業

事務事業名	簡易水道(上美生・美生・河北)施設維持管理事業
-------	-------------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 簡易水道施設を正常に機能させ、安全安心な水道水を安定的に供給するため維持管理事業を実施する。
2. 対象(何を対象にしているか) 簡易水道施設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 簡易水道施設を正常に機能させる

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 上美生簡易水道、美生簡易水道、河北簡易水道の各簡易水道が供用開始され約40年が経過しており、老朽化が課題となっている。令和5年度は令和5年9月から令和5年12月までの間に、物価高騰対策として水道基本料金を減免しているため有収率が52.9%となっている。(減免しない場合の有収率は57.9%)また、河北簡易水道において、道営営農用水事業河北地区の配水本管及び給水管切替に伴い排泥作業を実施しているため、有収率が低下している。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 長期に渡って施設を利用できるよう点検や整備を行い、既存施設を運用しながら修理や補強を行うことが必要となる。 今後も継続的に維持管理できるよう、既存施設の台帳整備や管路台帳のDX化を実施していく。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	31,230	65,170	
	一般財源	円	33,212,304	32,431,169	
	事業費計	円	33,243,534	32,496,339	
活動指標	修理した機器	基	3	2	
	修理した施設・管路	箇所	15	18	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
給水工事設計審査等手数料	円	31,230	65,170	
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 簡易水道の概要

区分	上美生簡易水道	美生簡易水道	河北簡易水道	合計				
事業創設許可年月日	昭和43年11月21日	昭和59年4月9日	昭和60年6月24日	-				
供用開始年月日	昭和43年11月21日	昭和59年4月9日	昭和60年6月24日	-				
計画給水人口	310人	600人	1,160人	2,070人				
2022年度末給水人口	264人	395人	909人	1,568人				
給水戸数	92戸	95戸	244戸	431戸				
計画給水量	108m ³ /日	240m ³ /日	1,010m ³ /日	-				
一日最大給水量	279m ³ /日	202m ³ /日	1,810m ³ /日	-				
年間総給水量	48,637m ³	44,517m ³	258,618m ³	351,772m ³				
年間有収水量	減免有 17,448m ³ 減免無 20,273m ³	減免有 37,104m ³ 減免無 41,338m ³	減免有 131,428m ³ 減免無 141,955m ³	減免有 185,980m ³ 減免無 203,566m ³				
有収率	減免有 36.0% 減免無 41.7%	減免有 83.3% 減免無 92.9%	減免有 50.8% 減免無 54.9%	減免有 52.9% 減免無 57.9%				
施設の設備	取水井戸	1	取水井戸	1	取水井戸	3	取水井戸	5
	配水池V=140m ³	1	配水池V=170m ³	1	配水池V=663m ³	4	配水池V=973m ³	6
	取水ポンプ	1	取水ポンプ	1	取水ポンプ	3	取水ポンプ	5
	薬液注入設備	2	薬液注入設備	2	薬液注入設備	6	薬液注入設備	10
	管理棟	1	管理棟	1	管理棟	1	管理棟	3
	電気計装設備	1	電気計装設備	1	電気計装設備	1	電気計装設備	3
			除鉄・除マンガン設備	2	除鉄・除マンガン設備	3	除鉄・除マンガン設備	5
			送水ポンプ	2	配水ポンプ	3	送水ポンプ	2
							配水ポンプ	3

2 管路延長調書

区分	上美生簡易水道	美生簡易水道	河北簡易水道	合計
導水管			477 m	477 m
配水管	10,648 m	40,342 m	105,067 m	156,057 m
送水管		1,558 m	m	1,558 m

3 機器・施設・管路の修理に要した費用	5,347,635円
(1)修繕費	
機器	2 箇所 402,600円
施設・管路	21 箇所 4,945,935円
4 特定財源内訳	65,170円
(1)給水工事設計審査等手数料	17 件 65,170円

款		項		目		事業番号	決算書上の事業名
1	簡易水道費	2	建設事業費	1	配水本管整備費	140125	簡易水道配水本管等整備事業

事務事業名	簡易水道配水本管等整備事業
-------	---------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 簡易水道配水管布設換工事及び給水工事(公道分)を実施する
2. 対象(何を対象にしているか) 配水本管及び給水装置の新設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 水道水の安定供給及び未普及世帯への供給

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 上美生、美生簡易水道、河北簡易水道の各簡易水道施設が供用開始され約40年経過しており、管路の老朽化に伴う漏水量の増加が懸念される。 令和5年度は令和5年9月から令和5年12月までの間に、物価高騰対策として水道基本料金を減免しているため有収率が52.9%となっている。(減免しない場合の有収率は57.9%)また、河北簡易水道において、道営営農用水事業河北地区の配水本管及び給水管切換に伴い排泥作業を実施しているため有収率が低下している。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 長期に渡って管路施設を利用できるよう事業の内容や緊急性など優先度を見極めて耐用年数を超過している配水管の布設換を計画的に実施していく。 令和6年度は河北地区の末端配水本管の布設換を実施。 令和7年度からは上美生地区の配水本管の布設換を実施。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円	42,600,000	8,100,000	
	その他(使用料等)	円	343,530	716,870	
	一般財源	円	16,860,170	7,997,730	
	事業費計	円	59,803,700	16,814,600	
活動指標	給水工事件数(公道部)	件	2	3	
	配水管更新及び移設延長	m	848		

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
簡易水道事業負担金	円	343,530	716,870	
簡易水道施設整備事業債	円	42,600,000	8,100,000	
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 配水管更新の内訳

工事名	工事費(円)	財源内訳(円)	
		起債	一般財源
-	-	-	-

2 給水工事の内訳

区分	件数	公道部 工事件数	公道部 工事費(円)	財源内訳(円)	
				事業負担金	一般財源
給水装置工事申請件数	17	3	622,600	716,870	394,570

3 河北簡易水道再整備に伴う給水切換工事の内訳

工事名	切換工事箇所数	工事費(円)
河北簡易水道給水切換工事その1(第2・3号配水管)	19箇所	8,030,000
計	19箇所	8,030,000

款		項		目		事業番号	決算書上の事業名
1	簡易水道費	2	建設事業費	2	給水設備費	140126	簡易水道給水設備事業

事務事業名	簡易水道給水設備事業
-------	------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 計量法に基づき量水器の更新取替及び新規に給水設備を設置する方に町で量水器を購入し貸付を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 量水器
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 簡易水道区域の水道水使用料を検針するため、計量法対象量水器を町で購入し、貸付を行っている。また計量法で計量器製造後8年を経過した量水器は更新するよう定められている。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 設置または更新後8年を迎える年に更新を行う。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	289,264	603,251	
	一般財源	円	3,713,564	1,659,449	
	事業費計	円	4,002,828	2,262,700	
活動指標	更新取替台数	台	83	54	
	新設台数	台	2	6	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
量水器口径別負担金	円	180,400	477,400	
検満量水器売払代金	円	108,864	125,851	
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 検満量水器更新に要した費用

区分	量水器購入費		更新工事費(円)	合計(円)
	台数	金額(円)		
検満用	54	1,064,030	1,090,100	2,154,130

2 新設用量水器購入に要した費用

区分	量水器購入費	
	台数	金額(円)
新設用	7	108,570

3 特定財源内訳

(1)量水器口径別負担金	7 台	603,251円
(2)量水器売払代金	170 kg	477,400円
		125,851円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
工事請負費						
簡易水道検満量水器取替工事 φ20～φ50mm 53台	1,078,000				1,078,000	石崎設備工業(株) R5.4.25～R5.9.29
検満量水器 取替工事その2 φ13mm 1台	12,100				12,100	石崎設備工業(株) R5.11.8～R5.11.8
工事請負費計	1,090,100				1,090,100	
備品購入費						
新設用量水器 φ20mm 7台	108,570 (108,570)					単価契約 愛知時計電機(株)釧路営業所
検満用量水器 (54台) φ13mm 1台 φ20mm 34台 φ25mm 12台 φ40mm 6台 φ50mm 1台	1,064,030 (14,630) (527,340) (199,320) (250,140) (72,600)			603,251	569,349	単価契約 アズビル金門(株)釧路営業所 愛知時計電機(株)釧路営業所 (株)富士計器 (株)富士計器 愛知時計電機(株)釧路営業所
備品購入費計	1,172,600			603,251	569,349	
合計	2,262,700			603,251	1,659,449	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
1	簡易水道費	2	建設事業費	3	施設整備費	140127	簡易水道施設整備事業

事務事業名	簡易水道施設整備事業
-------	------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 老朽化する水道施設に関して、施設及び機器等の更新を計画的に行い、安全安心な水道水を安定的に供給できるよう事業を実施する。
2. 対象(何を対象にしているか) 簡易水道施設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 簡易水道施設を正常に機能させる

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 上美生簡易水道及び河北簡易水道については、老朽化対策として、各浄水場の更新工事を過年度に実施し済みである。 美生簡易水道美生浄水場については、供用開始後約40年を経過し施設の老朽化が課題となっている。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 美生簡易水道については、事業の内容や緊急性など優先度を見極めていき、上水道統合についても視野に入れ計画的な更新を検討していく。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円	228,900,000	79,000,000	
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	14,810,170	10,735,320	
	事業費計	円	243,710,170	89,735,320	
活動指標	更新した機器	基		1	
	更新した施設	箇所		1	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
簡水水道施設整備事業債	円	228,900,000	79,000,000	
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

簡易水道施設整備・更新の内訳

工事名	工事費(円)	財源内訳(円)	
		起債	一般財源
上美生浄水場配水池外構工事	698,500	0	698,500
美生浄水場電気計装盤更新工事	79,068,000	79,000,000	68,000

※簡易水道特別会計の地方公営企業法適用に伴う打ち切り決算により、下記については令和6年度の支出

河北簡易水道再整備に要した費用

名称	負担金(円)	財源内訳(円)	
		起債	一般財源
河北地区営農用水事業負担金	152,639,439	152,600,000	39,439